

太良

議会だより
News from the Assembly



太良町

平成26年度一般会計予算

50億1千883万1千円

contents 9月定例会

- 9月定例会議決結果 ……3~5P
- 一般質問 4名が登壇 ……6~9P
- 議案調査・その他の活動 ……10~11P
- 議会の主な活動・街角クイズ ……12P

発行／太良町議会 編集／議会広報編集委員会
〒849-1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6
TEL 0954-67-2151

<http://www.town.tara.saga.jp/>

議会の情報がインターネットで見られます。
太良町役場のホームページにアクセスし、議会情報をクリックしてください。

No.134

平成26(2014)年10月発行
初版発行／昭和56年8月1日

【ヒガンバナ】

9月定例会

会期9月5日～12日(8日間)

一般会計の補正予算総額 1,813万7千円

一般会計の主な補正

歳入

- ◆国補助金
 - 社会保障・税番号制度システム整備費補助金 ……725万9千円
- ◆県補助金
 - さかの米・麦・大豆競争力強化対策事業費補助金 ……960万円
- ◆財産収入
 - 不動産売払収入(野崎分譲地2区画) ……625万3千円
- ◆特別会計繰入金
 - 後期高齢者医療特別会計繰入金 ……410万2千円
 - 国民健康保険特別会計繰入金 ……3,604万8千円
 - 漁業集落排水特別会計繰入金 ……699万6千円
- ◆基金繰入金
 - 財政調整基金繰入金 ……△1億2,265万5千円
 - 減債基金繰入金 ……△3,088万8千円
 - 公共施設整備基金繰入金 ……△4,800万円
- ◆繰越金
 - 前年度繰越金 ……1億55万4千円
- ◆雑入
 - 建物災害共済金 ……5,880万7千円
- ◆起債
 - 臨時財政対策債 ……1,039万3千円

歳出

- ◆ケーブルテレビ施設整備事業(イントラネット施設移設工事他) ……180万円
- ◆下水道等事業基金費積立金(基金積立金) ……699万7千円
- ◆補装具費支給事業費(義手作成に伴う扶助費) ……196万6千円
- ◆さかの米・麦・大豆競争力強化対策事業費補助金 ……1,248万円
(ライスセンター更新補助)
- ◆農地基盤整備事業費補助金(整備事業の件数増加のため) ……2,500万円
- ◆消防施設整備費補助金
 - 喰場地区防火水槽新設補助 ……158万9千円
 - 油津地区ホース乾燥台改修補助 ……16万2千円
 - 端古賀地区防火水槽有蓋改修補助 ……110万1千円
- ◆幼稚園就園奨励費補助金(幼稚園の園児増のため) ……196万円

◆平成26年8月臨時会(第2回)

◎平成26年度太良町一般会計補正予算(第2号)

学校給食センター改築工事設計業務委託料 530万円の増額補正
歳入歳出総額 50億69万4千円

26年9月定例会議決結果

9月定例会は、報告2件、決算認定8件、事件議案7件、補正予算7件、人事案件1件の計25件が町長より、また、請願1件、意見書6件が議会より提案され、議決結果は次のとおりです。

議案番号	件名	結果		内容
報告第3号	平成25年度太良町一般会計継続費精算書報告について	報告		多良中学校屋内運動場・武道場増改築事業(平成24年度・平成25年度事業)の完了に伴う精算報告
報告第4号	平成25年度太良町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告		地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告全会計とも健全
第48号	太良町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	全員賛成	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員や運営に関する基準等を定めるための条例制定
第49号	太良町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	全員賛成	家庭的な雰囲気のもとで少人数を対象に実施する「家庭的保育事業」等の設備や衛生管理などの事業に関する基準等を定めるための条例制定
第50号	太良町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	全員賛成	放課後児童支援員の資格要件や支援員配置基準、児童1人あたりの面積の基準等を定めるための条例制定
第51号	太良町母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全員賛成	母子及び寡婦福祉法の一部改正に伴う条例改正条文中の字句等の改正
第52号	太良町適正就学指導委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全員賛成	学校教育法施行令の一部改正に伴う条例改正 題名変更等 改正後 太良町教育支援委員会条例
第53号	太良町学校体育館等使用条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全員賛成	多良中学校体育館完成に伴う多良小中学校体育館の名称変更 変更後 多良小学校体育館
第54号	財産の取得について	可決	全員賛成	学校用電子黒板7台の購入 購入金額 801万3千600円
第55号	平成25年度太良町一般会計歳入歳出決算の認定について	可決	全員賛成	決算審査特別委員会に閉会中の継続審査を付託することに決定
第56号	平成25年度太良町山林特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	全員賛成	決算審査特別委員会に閉会中の継続審査を付託することに決定
第57号	平成25年度太良町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	全員賛成	決算審査特別委員会に閉会中の継続審査を付託することに決定
第58号	平成25年度太良町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	全員賛成	決算審査特別委員会に閉会中の継続審査を付託することに決定
第59号	平成25年度太良町漁業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	全員賛成	決算審査特別委員会に閉会中の継続審査を付託することに決定
第60号	平成25年度太良町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	全員賛成	決算審査特別委員会に閉会中の継続審査を付託することに決定

議案番号	件名	結果		内容
第61号	平成25年度太良町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	継続審査	全員賛成	決算審査特別委員会に閉会中の継続審査を付託することに決定
第62号	平成25年度町立太良病院事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	継続審査	全員賛成	決算審査特別委員会に閉会中の継続審査を付託することに決定
第63号	平成26年度太良町一般会計補正予算(第3号)について	可決	全員賛成	消防施設整備事業補助金等 1,813万7千円の増額補正 歳入歳出総額 ————— 50億1,883万1千円
第64号	平成26年度太良町山林特別会計補正予算(第2号)について	可決	全員賛成	前年度剰余金の基金積立等に伴う665万5千円の増額補正 歳入歳出総額 ————— 7,877万7千円
第65号	平成26年度太良町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決	全員賛成	一般会計への繰出金に伴う410万2千円の増額補正 歳入歳出総額 ————— 1億2,910万2千円
第66号	平成26年度太良町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	全員賛成	一般会計への繰出金等に伴う7,502万1千円の増額補正 歳入歳出総額 ————— 18億602万1千円
第67号	平成26年度太良町漁業集落排水特別会計補正予算(第2号)について	可決	全員賛成	一般会計への繰出金に伴う699万6千円の増額補正 歳入歳出総額 ————— 6,999万6千円
第68号	平成26年度太良町簡易水道特別会計補正予算(第2号)について	可決	全員賛成	前年度の剰余金確定に伴う110万4千円の増額補正 歳入歳出総額 ————— 1億110万4千円
第69号	平成26年度太良町水道事業会計補正予算(第2号)について	可決	全員賛成	配水管仮設工事に伴う101万5千円の増額補正 歳入歳出総額 ————— 8,311万5千円
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	同意	全員賛成	中島康子さんを人権擁護委員として法務大臣に推薦することを同意
請願第2号	農業・農協改革に関する請願書	採択	賛成多数	政府が農林水産業・地域の活力創造プランで農協改革を行うように決定しているが、改革については農家、組合員、組織の総意に基づく自己改革を尊重するよう国の関係機関へ意見書の提出をお願いする請願
意見書第4号	農業・農業協同組合改革に関する意見書の提出	可決	賛成多数	政府が農林水産業・地域の活力創造プランで農協改革を行うように決定しているが、改革については農家、組合員、組織の総意に基づく自己改革を尊重するよう国の関係機関へ太良町議会として意見書を提出
意見書第5号	軽度外傷性脳損傷に関わる周知及び労災認定基準の改正などを求める意見書の提出	可決	全員賛成	1.業務上の災害または通勤災害により軽度外傷性脳損傷となり働けない場合、労災の障害(補償)年金が受給できるよう、労災認定基準を改正すること。 2.労災認定基準の改正に当たっては、他覚的・体系的な神経学的検査法など、画像に代わる外傷性脳損傷の判定方法を導入すること。 3.軽度外傷性脳損傷について、国民をはじめ教育機関への啓発・周知を図ること。 以上3項目を国の関係機関へ太良町議会として意見書を提出

議案番号	件名	結果		内容
意見書 第6号	森林整備加速化・林業再生基金事業の継続を求める意見書の提出	可決	全員賛成	森林・林業の活性化に必要な安定的な財源を確保するため、今後の予算編成に当たっては、複数年にわたる「森林整備加速化・林業再生基金事業」の継続、拡充及び「地球温暖化対策のための税」の用途に森林吸収源対策を追加するよう国の関係機関へ太良町議会として意見書を提出
意見書 第7号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出	可決	全員賛成	<p>地方財政の充実強化を求めるため</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地方財政計画、地方税のあり方、地方交付税総額の決定に当たっては、国の政策方針に基づき一方的に決めるのではなく、国と地方の協議の場で十分な協議のもとに決定すること。 2. 社会保障分野の人材確保と処遇改善、農林水産業の再興、環境対策などの財政需要を的確に把握し、増大する地域の財政需要に見合う地方財政計画、地方交付税及び一般財源総額の拡大をはかること。 3. 復興交付金については、国の関与の縮小をはかり、採択要件を緩和し、被災自治体がより復興事業により柔軟に活用できるよう早急に改善すること。また、被災地の復興状況を踏まえ、集中復興期間が終了する2016年度以降においても、復興交付金、震災復興特別交付税を継続して確保すること。 4. 法人実効税率の見直しについては、課税ベースの拡大などを通じ、地方税財源の確保をはかった上で、地方財政に影響を与えないようにすること。また、法人事業税については、安定的な税収確保や地域偏在性の縮小を目指す観点から、現行の外形標準課税の充実をはかること。 5. 償却資産にかかる固定資産税やゴルフ場利用税については、市町村の財政運営に不可欠な税であるため、現行制度を堅持すること。 6. 地方交付税の別枠加算・歳出特別枠については、地方自治体の重要な財源となっていることから現行水準を確保すること。 <p>以上6項目を国の関係機関へ太良町議会として意見書を提出</p>
意見書 第8号	「手話言語法」制定を求める意見書の提出	可決	全員賛成	手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」を制定することを求めることを国の関係機関へ太良町議会として意見書を提出
意見書 第9号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出	可決	全員賛成	ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること及び身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和を求めることを国の関係機関へ太良町議会として意見書を提出

一般質問

久保繁幸 議員

町政・三期目への挑戦・進退を問う

答▼ご支援をいただくなれば三期目へ挑戦したい

議員 町長任期まであと五ヶ月余りとなったが、町政三期目への挑戦をどう考えているのか。

町長 協働のまちづくりをスローガンに一次産業と一体化した商工観光業の振興、若者定住策、農林漁業の基盤整備、高齢者福祉と子育て支援、教育施設の整



備などを公約に掲げていた。一定の成果は果たしていると考え

が、一次産業の低迷に伴う後継者不足、農地の荒廃地の増加、少子化に伴う結婚支援、農商工連携の強化など、今後の町政運営に重要な課題が山積しているため、ご支援をいただくなれば三期目に挑戦したいと思っている。

議員 今後、太良町は人口減が見込まれているが、地域の活性化が最大の要因であり、重視することが町政運営の一番のカギになると思われる。生活基盤を築くための施策をどうするか。それによって若者が定住し、収入増、子育て、人口増も考えられるが、これらの件について今後の町政運営の舵取りをどうしていく考えか。

町長 生活基盤固めは、一次産業の低迷からの浮上、産業の振興の他、現在営業している、たらふく

館やおまねきの各施設を核として、農林水産、商工業の連携を図り、従来の第一次産品の販売の活性化、商品開発による六次産業化に取組み、宣伝並びに販路拡大に力を入れ、太良町の特産、特産を創作し、町民所得が潤う政策をやっていききたい。

議員 人口増をはかるため、他県や都会からの移住者増の対策は何か考えはあるのか。

町長 現在田舎への移住思考が多くなっているようだが、太良町では樹園地等々が荒廃地の原因になっているので、基盤整備をして農地の貸出制度や、空き家を整備して貸し家や住宅売買を行なうなど移住者受け入れ方策を考えたい。

議員 今後の高齢者対策についてはどのような施策を考えているのか。

町長 太良町の高齢者人口比は佐賀県内で一、二位を争う比率であり、高齢者の皆さんと一体となり、まちづくりに邁進して行きたいと考えている。

豪雨対策について

議員 全国的にゲリラ豪雨が多発し、甚大な被害を出している昨今ですが、近県や県内全域に大雨洪水警報が出ている中、な

ぜ太良町だけ注意報なのか。

町長 大雨洪水警報の発令は、普通一時間当たりの雨量が60ミリ以上の時に発表されるもので、太良町の場合は3時間当たりの雨量が120ミリ以上の場合で発表するように平成20年から変更になっている。

議員 なぜ太良町だけ3時間雨量が120ミリを超えた場合と

なっているのか。

総務課長 町内は平坦部が乏しく浸水被害が少ない地理的特性があるとしたうえで3時間雨量と気象庁が設定している。

議員 記録的短時間雨量が多発している中、3時間雨量での発表で良いのか。町民の方々が大雨の時の避難準備のためにも、他市町並みの1時間雨量発表に変更要望をされる予定はないのか。

町長 内容等の変更については、消防団の幹部あるいは行政等々で協議を重ね、気象庁と打合せをしなければならぬものと思っ

ている。

議員 近年は記録的な大雨の発生が多発している中、絶対安全と言えるのか。災害が起きてからは遅いので早めの基準の変更を希望する。



▲豪雨災害の現場



▲進退表明をする岩島町長

一般質問

田川 浩 議員

小中学校の統廃合問題を本格的に議論し始める時期ではないか

答▼教育環境整備検討委員会で協議をし、状況を見ながら判断したい。

学校の統廃合について

議員 今から12年後の生徒数は、多良中学校が現在の164名から97名、大浦中学校が134名から64名、多良小学校が277名から207名、大浦小学校が203名から144名になると予測さ

れる。教育委員会では小中学校の適正規模をどう考えているか。

教育長 小規模校・中規模校・大規模校のどれにも良い面と悪い面がある。理想的には中学校は4クラス、小学校は3クラスではないかと思うが、地域の実情もあり悩ましい問題である。

議員 これまで、学校の統廃合問題について協議したことはあったか。

教育長 太良町教育環境整備検討委員会にて協議を行っている。

議員 回数ほどのくらいか。

学校教育課長 昨年が2回、一昨

年が1回である。

議員 その検討委員会で話されたことを踏まえて、最終的には教育委員会で判断するのか。

学校教育課長 検討委員会が一

定の方向性を出してもらい、教育

委員会

委員会で協議を重ね、町長に報告

また答申という流れになると思

う。

議員 生徒数減少でクラブ活動

に変化はあったか。

学校教育課長 過去に大浦中

学校の女子ソフトボール部が、嬉野

中学校や鹿島東部中学校と合同

で中体連に出場したことがある。

議員 どんな競技でも合同で中

体連に出ることができるとか。

学校教育課長 ソフトボール、野

球、サッカーなど団体競技のみ合

併ができる。柔道、剣道、テニスな

ど個人戦がある競技は個人戦の

み出場することになる。

議員 学校の統廃合問題につい

ては何回も視察研修を行ったが、

統合方式、学校・保護者・地域の意

見などをまとめて総意を得るに

は約10年ほどかかるそうだ。統合

するしないにかかわらず、この問

題を本格的に協議するには取り

かかりを早くした方がいいと思

う。年に1、2回では前に進まな

いだらう。特別にこの問題に絞っ

て調査研究なり協議会などをつ

くって取り組む姿勢はないか。

教育長 太良町教育環境整備検

討委員会で協議をし、状況を見な

がら判断したい。それと同時に、

今後の国・県の指導などを注視し

ながら子どもや地域にとって何

が学校の在り方として望ましい

かを検討していきたい。

里道の修復について

議員 町内にある公の道路で行

政区内の道路、いわゆる里道が老

朽化し、その補修のために行政区

が費用を一部負担するケースが

ある。近年、その老朽化の箇所が

多くなり、負担金が行政区の財政

を圧迫しているところもある。里

道とはいえ、生活に欠かせない物

品

になっていく

もの

が

な

ら

な

ら

な

ら

な

ら

な

ら

な

ら

な

ら

な

ら

な

ら

な

ら

な

ら

な

ら

な

になっていく箇所ばかりなので

放置することも出来ない。工事そ

のものが難しかったり、人的不足

で原材料支給でも対応できない

場合もあるのでは、一定の基準を定

め、町で補修することはできない

か。

町長 里道の維持管理について

は地元の行政区に要望書を出し

てもらい、原材料の支給で対応し

ている。平成20年からは重機の借

上げ料をオペレーター付きで支

給している。いろいろな現場があ

るので、今後前向きで検討課題と

していきたい。



12月14日



▲生徒数の減少がすすむ町内の学校

一般質問

牟田 則雄 議員

太良町の人口減少の原因は

答▼最大の原因は少子化である

議員 太良町の人口減少について先日佐賀新聞に出ていたデータによると、2040年で5284人になると推計が出ていたが、そこまで減っていく原因は何か。

町長 人口の増減数をあらかず言葉に人口動態があり、出生と死亡の差である自然動態と転出と転入の差である社会動態に区分される。ここ数年の太良町の人口減の特徴的な要因は少子化であ

ると考える。

議員 人口減少に伴う太良町の将来展望への影響は、どのような事が考えられるか。メリットとデメリットは。

企画商工課長 メリットは太良町に限ったことではないが、地球規模でいくと二酸化炭素の排出削減、温暖化の防止につながる

他、食糧難の回避あるいは一人当たりの住居面積の拡大等が考えられる。デメリットとしては、労働力が不足して経済活動が縮小する、あるいは高齢者医療福祉を支える若年層の減少により現役世代の負担が増える、それに伴って社会保障制度の維持が困難になる、あるいは地方の税収が減少する等である。

町長 行政サービスへのニーズは増大・多様化の傾向にある。少子高齢化でサービスを受ける人が増える一方でサービスを賄う側の人は減少しており、行政主導の福祉から地域住民全てで支え

る福祉へと行政サービスの概念を変えていく必要がある、施策の展開においては自助、共助、公助のバランスを図りながら行政を行っていくべき時代が到来すると考えている。

議員 人口減少に対する対策として一次産業を核とした雇用創出を図れないか。

町長 農業を取り巻く情勢は厳しく農業従事者の高齢化や担い手の減少、産地間の競争の激化や輸入野菜の増加等、さまざまな問題が山積している。太良町は、生産基盤の整備をはじめ独自の販売戦略、販売を支える品種の維持向上、担い手確保、企業参入の対応が必要と考えている。具体的には、新規就農総合支援事業等を活用した担い手の育成・確保や農林水産物の加工体制の充実を促し、加工特産品の開発を推進し、販売流通については農林水産物の直売体制の充実や地産地消の促進、農山漁村体験等の取り組みを促進し、元気で活力ある一次産業へ成長していけば地域の雇用創出につながっていくと考えている。

県内20市町の若年女性の減少率

	2010年比(%)	2040年	
		20~39歳女性人口(人)	総人口(人)
太良町	64.8	290	5284
基山町	62.1	804	12317
玄海町	59.1	233	3969
大町	57.1	278	4234
みやき町	55.2	1222	17303
多久市	55.1	966	13287
嬉野市	53.3	1357	19475
白石町	50.6	1205	16369
鹿島市	47.5	1714	20469
有田町	44.7	1134	14427
神埼市	44.6	2068	25216
唐津市	43.3	7708	88947
武雄市	42.6	3081	38635
佐賀市	41.0	16875	184817
伊万里市	40.1	3541	43192
小城市	38.7	3233	35258
江北町	35.1	720	7966
上峰町	27.9	870	8316
吉野ヶ里町	24.9	1596	15391
鳥栖市	2.4	9180	77944

※新規就農総合支援事業

農業経営者となることに強い意欲があり、若い(45歳未満)担い手に対し、年間150万円の補助金を交付する事業で、最長5年間交付される。また、交付に際しては様々な交付要件がある。



▲しおまねき (6次産業化施設)

一般質問

坂口久信 議員

国道207号線の歩道設置について

答▼県の土木事務所に確認している

議員 国道207号線系岐地区の一部において歩道がない区間があり、車の往来も多く危険である。長年この問題は、町、議会が県へ陳情した経緯もあり、特に今回は地元県議含め、県に働きかけた結果、県も前向きに考えているようだが。

ら二メートル五十センチ幅員での計画はない状況ですが、県の計画として一部国道ののり面に一メートルから一・二メートルぐらいの用地がある。それを利用できないか、今、県の土木事務所で調査、測量、設計等を二十六年度で計画をされている。

町長 現在の状況としては、新たに用地を確保し歩道の拡張計画、いわゆる規格では二メートルか

議員 県の土木事務所も今回は前向きで、この機を逃さないよう、特に地権者との交渉がスムーズに行くよう配慮をお願いしたい。

町長 用地の境界等々については、地元区長、評議員さんの協力をあおぎ来年度には歩道が出来るようになって行きたい。

中山キャンプ場の周辺整備について

議員 バンガローが老朽化しているが今後改築の考えはないか。

町長 現在、中山キャンプ場のバンガローは七棟ある。この内、築三十五年を超えるものが四棟で、

平成四年と平成十三年に内装外壁塗装の改修工事をしたが、それから十二年経過しているので、今後の利用者の推移を見ながら年次計画を立て改築等の検討を行っていく考えだ。

議員 駐車場の拡張については

町長 現在二十四台の駐車が可能で、満杯になることはない。拡張については今後の利用者の推移を見ながら検討する。また、赤松橋から上に電気を引く見積りを九電にたずね、女性トイレの改善要望もあっているから緊急順位を決めて、計画をしていきたい。

議員 中山キャンプ場を子どもたちのリーダー研修の場に活用できないか。

教育長 今日の教育は非常に難しい時代であり、いろんな事を勘案しながら、太良町の自然をしっかりと学習させていくようなことで、総合学習や郷土の学習をさせていきたい。

小・中学生の携帯電話・スマートフォンの普及率について

議員 町内の小・中学校の携帯電話・スマートフォン等の普及率は、また全国的に多発している被害が町内四校には及んでいないか。

教育長 基本的に児童・生徒の学

校への携帯電話・スマートフォンの持込みは禁止している。安全上の問題や山間地区や通学に時間を要する児童・生徒への連絡等においてどうしても必要な家庭は保護者が校長の許可を得て、学校に持参している。四校とも二学期に調査を行う。メール等の被害については四校ともあっていない。

議員 携帯電話・スマートフォンの被害対策はされているのか。

教育長 今年度多良中学校は七月に全校生徒を集め、NTTドコモにお願いして携帯電話・スマートフォンの危険さを説明してもらい注意喚起している。大浦中学校については、佐賀県警のサイバー犯罪担当者に講師依頼をお願いしている。また、今後は携帯電話・スマートフォンが便利であるが、危険である事を指導していく。



▲現在の中山キャンプ場

▲国道207号線系岐地区の現状

平成26年度 知事・市町議会議長懇話会 (平成26年8月20日) ホテルマリターレ創世にて

佐賀県知事と各市町の議長が地域の課題について意見交換し、太良町からは国道207号線の幅員拡大および歩道の設置についての要望と、有明海沿岸道路の早期指定についての要望を提出しました。県からは、まず現地調査をしっかりとやりたいとのことでした。



町村議会議員研修会

(平成26年8月28日)
ホテルマリターレ創世にて

「海に守られた日本から海を守る日本へ」というテーマで、東海大学海洋学部の山田吉彦氏の講演がありました。

尖閣問題などを専門家の視点で話してもらいましたが、今や安全保障問題は漁業や環境問題と一体の問題であるという言葉が印象に残りました。

議案調査

<平成26年9月11日>



▲今夏の雨による被害状況を現地調査
※町道端月線



▲針牟田地区農地基盤整備事業
(現在工事中)



◀ 期日：平成26年9月16日
区長会との対話会議が
開催された

◀ 《議題》

- ・太良町の今後の活性化について
- ・少子化対策について

▶ 期日：平成26年9月20日
たらふく館
リニューアルオープン
「落成式」



◀ 期日：平成26年10月7日
市町村行政講演会
佐賀市文化会館にて

「人口減少時代の基礎自治体のあり方」というテーマで、元総務省事務次官の岡本保氏の講演がありました。人口減少時代における地域づくりを、工場誘致からの脱却、サービス産業に絞った雇用創出、若者の定住策や高齢者需要に応える住まいづくり、などの視点で展開されました。



▶ 期日：平成26年10月9日
高齢者短大講演
しおさい館にて

高齢者短大に講師として議長が招かれ、「議会のあり方」というテーマで議会の仕組みや役割についてわかりやすく説明しました。



聴取による審査等を実施しました。
一般会計及び5特別会計の歳入総額78億4千203万7千円、歳出総額74億2千110万7千円となり、4億2千93万円の黒字となっており、概ね健全な財政運営が確保されていきました。
水道事業会計については、総収益5千405万4千円、総費用4千553万9千円となり、851万5千円の黒字計上となっていました。また、病院事業会計についても総収益9億9千782万7千円、総費用9億4千808万9千円となり、4千973万7千円の黒字計上となっていました。
平成25年度太良町財政健全化判断比率及び資金不足比率の審査につきましては、いずれも適正基準指標となっており、健全な運営をされていると認められました。



木塚 賢司委員
平古場公子委員
平成25年度の一般会計と特別会計について、会計帳票と証拠書類との照合を行うとともに、関係職員からの事情

監査意見

議会の主な活動 7月～9月

- 8月
 - 19・杵藤地区広域市町村圏組合議会
 - 16・太良町消防団夏季点検
 - 12・臨時議会
 - 12・全員協議会
 - 11・多良岳地区広域農道推進協議会通常総会
 - 8・小型動力ポンプ引渡式
 - 4・佐賀県西部広域環境組合議会臨時会
 - 4・市町長、国保運営協議会会長、委員、国保主管課長合同セミナー
 - 4・佐賀県国民健康保険運営協議会会長連絡会議
 - 3・第24回全国消防操法大会結団式
 - 29・多良岳200年の森づくり監事会
 - 26・第23回太良町納涼夏まつり
 - 24・国道207改良促進期成同盟会総会
 - 22・佐賀県町村議会議長会会計監査
 - 20・太良町特産品振興施設新築工事落成式
 - 18・山林運営委員会
 - 16・第26回議会活性化特別委員会
 - 16・太良町中山キャンプ場山開き式
 - 15・太良町人工海浜公園白浜海水浴場海開き式
 - 14・部落解放・人権政策確立要求
 - 3・太良町竹崎かに旅館組合通常総会
 - 2・議会広報編集委員会
 - 1・経済建設常任委員会所管事務調査
- 7月
 - 20・太良町中学校給食センター改築に伴う建設検討委員会
 - 2・議会運営委員会
 - 2・太良町中学校給食センター改築に伴う建設検討委員会
 - 5・9月定例会招集
 - 5・9月定例会一般質問
 - 9・9月定例会一般質問
 - 11・第28回議会活性化特別委員会
 - 11・議案調査
 - 13・9月定例会議案審議
 - 14・大浦中学校体育大会
 - 16・区長会と議会との対話会議
 - 17・通学路等の安全確保に伴う巡視活動
 - 20・太良町特産品等展示販売飲食施設「たらふく館」リニューアルオープン式典
 - 22・29・秋の交通安全運動街頭指導
 - 24・議会広報編集委員会
 - 24・太良町中学校給食センター改築に伴う建設検討委員会
- 9月
 - 20・第27回議会活性化特別委員会
 - 20・知事・市町議会議長懇話会
 - 21・山林運営委員会
 - 21・多良岳200年の森づくり委員会
 - 26・杵藤地区広域市町村圏組合議会8月定例会
 - 28・佐賀県町村議会議長会
 - 28・町村議会議員研修会
 - 29・鹿島藤津地区衛生施設組合議会8月定例会
- 8月
 - 20・第27回議会活性化特別委員会
 - 20・知事・市町議会議長懇話会
 - 21・山林運営委員会
 - 21・多良岳200年の森づくり委員会
 - 26・杵藤地区広域市町村圏組合議会8月定例会
 - 28・佐賀県町村議会議長会
 - 28・町村議会議員研修会
 - 29・鹿島藤津地区衛生施設組合議会8月定例会



傍聴風景及びコメント

老連会長 池田直彦

9月9日の一般質問を老連役員で傍聴しました。真剣で理性ある議長の立ち振る舞い、それに劣らぬ議員や町長らの質疑応答、私たち町民が安心して暮らせるため真剣に話し合われていることに感銘を受けました。

編集室より

今年の夏は雨が多く、全国各地で甚大な被害が発生し、町内においても23箇所の大な被害はなかったものの、町民の方々には不安な思いをされた方もいらっしゃると思います。日頃からの備えが、いざという時に安心に変わると思いますが。

編集委員会

- 委員長 所賀 廣
- 副委員長 田川 浩
- 委員 牟田 則雄
- 委員 江口 孝二
- 委員 平古場 公子

街角クイズ!!

お買物券が当たる!

Q) 町内のどの地区でしょうか?
A) ○○地区

解った方は、ハガキに答えを明記し、住所・氏名電話番号をご記入の上、下記に応募下さい。

〒849-1698
藤津郡太良町大字多良1-6
太良町議会議務局「街角クイズ係」宛

※締め切り／11月末日 消印有効
※当選発表はお買物券の発送(抽選)をもって代えさせていただきます。
前回は多数のご応募ありがとうございました。